

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	(和文) バングラデシュでは糖尿病、高血圧などの非感染性疾患（以下「NCD」とする）が増えているが、政府による NCD のための医療サービスは乏しく、治療をあきらめて悪化させたり、NCD の治療により貧困化したりするケースを散見する。政府は非感染性疾患の予防と管理を強化するため、診断、治療、相談、データ管理等を行えるよう、段階的に全国の郡病院に NCD コーナーを設置する方針を示している。本事業では、NCD コーナーに期待される機能のうち、予防啓発、生活指導、相談、フォローアップ支援、データ管理など（医療サービスを除く）社会的サービスの機能の強化を通じ、保健医療の網から落ちてしまいやすい NCD 患者の保健ケアへのアクセスを改善することを目指して実施する。本事業は、バングラデシュ政府の保健サービス局と連携して実施し、事業成果はバングラデシュ政府の今後の NCD 対策に反映される予定である。 (英文) The project is to improve NCD patients access to health care through strengthening of counseling services in NCD corner
(2) 事業の必要性 (背景)	(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズ バングラデシュでは非感染性疾患（NCDs）による死亡が全体死因の 67%に増加し、また、NCD による死亡のうち 70 歳未満の締める割合が日本では 17%のところ、バングラデシュでは 51%と高いことから、回避可能な疾病や重症化を避けるための対策強化が急務となっている。 (WHO, 2016) バングラデシュ政府保健サービス局は第 4 次保健・人口・栄養セクター開発プログラム（HPNSDP, 2017-2022）の行動計画に沿って NCD に関する対策を段階的に進めてきている。これまでに、高血圧や糖尿病など NCD のための治療薬の一部を必須医薬品として政府系病院での無料配布を始めた他、2022 年までに 200 の郡病院（全 492 郡中）に NCD コーナーを計画で、現段階では 30 郡を NCD Management Model とし、先行試行している。しかし、訪問者数に対する保健医療従事者数やスペースの不足、運営側の NCD に関する理解や経験不足などの要因から、政府が目指す機能を NCD コーナーが果たしている状態にはない。 一般啓発や指導を通じて NCD のリスク要因に対する予防網を強化した上で、医療を必要とする人には絶え間なく医療サービスを行き届けるための NCD コーナーの機能を高めていくことが求められている。 (イ) 申請事業の内容（事業地、事業内容）選定の理由 バングラデシュ政府保健サービス局は NCD コーナーで「患者登録、病気診断、指導、カウンセリング、治療、データ管理システムとレポート、専門病院へのリファerral、地域保健との連携（地域からリファerralを受け、患者情報を戻す）、フォローアップ等」を行うことを掲げているものの、全国的に見ても全ての機能を果たしている NCD コーナーはない。本事業は NCD コーナーの機能のうち、特に社会的サービス（相談、指導、データ管理、地域連携、フォローアップ等）強化を通じて、NCD コーナーの先行モデルとなることを目指している。 1 年次は対象 4 郡の NCD コーナーを軌道に乗せることを目標に実施している。2019 年 8 月までにターゲット地域の 4 つの郡病院内に NCD コーナーを設置する。

	ーナーが立ち上がり、医師（各病院 1 名計 4 名）と看護師・保健ワーカー（6 名）が郡病院から配属され、医師による病気診断、治療（投薬）が開始した。NCD カウンセラーによるカウンセリングは 5,260 回行われ、コンピューターで登録された患者数は 3,100 人（新規および経過観察）であり、予想より早い速度で進んでいる。1 年次の後半で、データ管理システムを完成させ、保健ワーカーらの研修を実施し、映像教育を完成させる予定であり、1 年次のうちに NCD コーナー内で提供するサービスを実体化させることが期待できる。 ただし、NCD コーナーは待っているだけ、単発でサービスを提供するだけでは不十分で、フィールドと連携し治療が必要な患者が時機を逃さず受診をし、治療を受けた患者が地域保健の中で経過観察を受ける体制を促進する役割も期待されている。 2 年次にあたる今期は NCD コーナーと地域保健連携強化、具体的には、地域レベルでの予防啓発や早期発見の機会を増やし、コミュニティアクリニックおよび家庭訪問をする保健ワーカーが発見した疑い患者が NCD コーナーにリファールされる機能を強化することを事業達成目標とし実施する。同時に、コミュニティアクリニックのデータ入力アプリと NCD コーナーのデータ管理システムを関係者が習得・活用し、技術的な課題を解決しながら、使いやすいシステムに仕上げていく。 NCD コーナー内のサービス稼働（主に 1 年次）と NCD コーナーと地域保健との連携強化（主に 2 年次）は、NCD 対策の両輪であり、これらを機能させることで、非感染性疾患患者の保健ケアへのアクセス改善を目指す。 【事業地選定について】 政府は、将来的に全国 421 の郡病院で NCD サービスを開始する方針で、2022 年までに 200 力所に開設する計画である。2019 年現在、先行試行として 30 の郡病院で NCD 管理モデルの NCD コーナーを開設している。保健サービス局は、本事業の対象地域ジョソール県モニランプル郡、チョウガチャ郡、ケシャプール郡郡病院内およびショドル郡保健所内の 4 コーナーを NCD 管理モデルとして指定している。 ●「持続可能な開発目標 (SDGs)」との関連性 主に SDGs3.4「2030 年までに非感染性疾患による若年死亡率を予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させる」に貢献する。 ●外務省の国別開発協力方針との関連性 本事業は対バングラデシュ人民共和国 国別開発協力方針 3. 重点分野 (2)「社会脆弱性の克服」の中の「保健については、母子保健及び非感染性疾患対策を中心として公的保健サービスの質の改善を図るとともに、保健人材の育成やコミュニティによる住民の健康支援体制の確立を含む保健行政の能力強化を通じ、包括的な保健システム強化を支援することで、ユニバーサル・ヘルスカバレッジの達成に貢献する」に関連して実施する。 ●「T I C A D V I における我が国取組」との関連性 本事業は南アジアの事業である。
(3) 上位目標	非感染性疾患患者の保健ケアへのアクセスが改善される
(4) プロジェクト	政府病院の非感染性疾患 (NCD) コーナーの相談サービスが強化される

目標 【今期事業達成目標】	地域連携を通じ、保健ワーカーが発見した疑い患者を NCD コーナーにリファールする機能が強化される。
(5) 活動内容	当初の事業計画からの大きな変更はない。NCD コーナー内の機能強化を継続する他、地域連携に注力する。 1. NCD コーナーの整備を行う→完了見込 1-1 NCD コーナーの機能と役割に関するワークショップ開催→完了 1-2 NCD コーナーのデザイン決定→完了 機能や利用者数に合わせて見直ししていく 1-3 必要な資機材の購入と設置→ほぼ完了 今次、視聴覚設備を完成させる 2. NCD コーナーで従事する人材および地域保健従事者を育成する *1 年次に行うが、実務研修とレビュー研修を 2, 3 年次も継続する。 2-1 郡レベルのワークショップを開催する。→完了 2-2-1 NCD カウンセラー育成研修を実施する (17 名) 対象：看護師 (2 名×4 郡)、統計担当 (4 名と書記長 1 名)、事業雇用の NCD カウンセラー (4 名) 内容：1 年次は、重症化予防のための管理、地域保健連携など病院でのカウンセリングに関する研修を実施した。2 年次にあたる今期は、NCD カウンセラーを通じて NCD マネージメントのレビューワークショップを実施し、進捗と課題を協議する。 2-2-2 NCD カウンセラーが期待された役割を担い、適切なカウンセリングを行うことを支援する。→継続 2-3-1 保健ワーカー研修を実施する (600 人) →完了 対象：保健従事者 内容：予防啓発、スクリーニング、リファール 2-3-2 保健ワーカーが NCD コーナーにリファールを行う。→継続 2-3-3 フィールドの保健ワーカーと NCD コーナーのスタッフがアプリを使ったデータ管理システムを習得する。(技術的問題解決を含む) →継続 3. NCD 患者のデータ管理システムを構築し、地域連携に活用する *データシステム導入は 1 年次。運用支援は 2, 3 年次に継続して行う。 3-1-1 患者管理のためのデータシステムについて保健サービス局、病院と協議し、患者データ管理のためのアプリを開発する→完了見込 3-1-2 1 年次に導入するデータ管理システムのレビューを行う 3-2 NCD カウンセラー、保健ワーカーにアプリの使用方法を教える 3-3 フィールドの保健ワーカーが患者・疑い患者のデータをアプリに入力する→継続 *端末を持っていないスタッフは紙ベースで患者情報を記入し NCD コーナーに送る 3-4 NCD コーナーのカウンセラーが患者データを入力 (一部は更新) する→継続 3-5 郡保健局は 3-3、3-4 で集められたデータを確認し、郡保健局の月例会議で報告する→継続 3-6 郡保健局は、このデータを政府のサーバーとリンクさせる *プロジェクトは保健サービス局 NCD 対策課と協議を通じて、このデータが保健情報局の情報とリ

ンクできるよう支援する。

4. NCD 予防の指導教材（映像を含む）を作成する→完了見込

4-1 保健サービス局や地域の保健医療従事者、専門家と協議し、病院内外で流す NCD 予防のための映像等啓発教材の内容を決定する

4-2 業者を選定する

4-3 啓発教材を作成する

4-4 啓発教材を病院内外で活用する。

*要請を受けて映像教材を配布する。また、関係者の啓発実施報告書（保健ワーカー、学校教師、ビデオ放映等）を毎月集める。受益者の生活スタイル改善のグッドプラクティスを選び、関係者に共有する。

5. コミュニティのイニシアティブで生活習慣と環境改善を推進する→2 年次に継続（強化）

*5-1～5-5 は、1 年次から開始。5-6 水設備修繕と新設は 2 年次と 3 年次に行う

5-1 コミュニティグループ*（CG）が環境改善の必要性を理解し地域レベルで取り入れる

*コミュニティグループ（CG）は、政府がコミュニティクリニックの運営母体として設置を義務付けているグループ。運営以外に、地域活動計画を立て保健活動を行う。

5-2-1 プロジェクトが CG による啓発教材を使った保健教育を支援する

5-2-2 プロジェクトは、CG の活動をフォローアップし、住民の NCD の予防のための生活改善と早期発見を促進するための技術指導を行う。

5-3 中学校で保健教育ができるよう保健教師対象としたワークショップを開催する（300 校*10 教師＝3,000 人）

5-4 NCD の早期発見が住民参加型健診キャンペーンを活用して推進される

*キャンペーンで発見された疑い患者のデータをアプリ入力する

5-5 郡保健局が保健施設における水の問題について把握する→達成見込

5-6-1 対象地域内の保健施設が安全な水を確保することを支援する

5-6-2 砒素に汚染されていない安全な水を選定された保健施設に設置する。

5-6-3 プロジェクトが保健ワーカーと CG メンバーに安全な水の継続利用について研修する。

*水の供給について：対象地域内の保健施設数：郡病院（UHC）4、コミュニティクリニック（CC）156 カ所、家族福祉センター（FWC）42、ユニオンサブセンター（USC）10、計 212 カ所。このうち 3 割程度が何らかの問題を抱え、不稼働になっていることが経験的に推測される。本事業では、保健施設の運営委員会の要請に基づき、手押しポンプ式井戸のバルブやハンドル交換などの修繕を 40 カ所、水質・井戸深度・周辺環境など本質的な問題がある場合に備え新規水源設置を 28 カ所にて計画している。水源設置前に事前適性調査を行い、水質・水量の適性を予測したうえで工事を実施、掘削時は業者のスーパービジョンを行う。完了検査（水質・水量・技術）を行ったうえで、保健施設へハンドオーバーを行う。

6. 調査、評価を実施し、成果を発信する。*1～3 年次

6-1 フォローアップ調査の実施

6-2 評価ワークショップ（中間）の実施

*保健サービス局の提案を受けて、生活スタイル修正の成功事例を集め、評価ワークショップで共

	有する。 6-3 成果普及研修を実施する (30 回 * 20 人 = 600 人) (2 年次) *対象地域外の学校を中心に研修を実施し、拡大を図る。学校の場合は教師、事務員、学校運営委員などに対象者とする。学校以外では、クラブ、女性グループなどを考えている。 6-4 開発フェアに出展し、成果を普及する (1, 2, 3 年次) 6-5 最終報告書を作成する (3 年次) 6-6 最終報告会を実施する (3 年次) 裨益人口 直接裨益者 26, 264 <table border="1"> <tr> <td>NCD カウンセラーと統計担当</td><td>12</td></tr> <tr> <td>保健ワーカー</td><td>600</td></tr> <tr> <td>NCD コーナー利用者</td><td>20,000</td></tr> <tr> <td>コミュニティグループメンバー</td><td>2,652</td></tr> <tr> <td>中学校教師</td><td>3,000</td></tr> </table> 間接裨益者 156, 500 <table border="1"> <tr> <td>保健施設利用者 (含む安全な水受益者)</td><td>23,400</td></tr> <tr> <td>啓発参加者(映像等)</td><td>16,100</td></tr> <tr> <td>中学生</td><td>63,000</td></tr> <tr> <td>コミュニティレベル健診参加者</td><td>46,000</td></tr> <tr> <td>啓発参加者(フェア、成果普及研修、CG による啓発)</td><td>8,000</td></tr> </table>	NCD カウンセラーと統計担当	12	保健ワーカー	600	NCD コーナー利用者	20,000	コミュニティグループメンバー	2,652	中学校教師	3,000	保健施設利用者 (含む安全な水受益者)	23,400	啓発参加者(映像等)	16,100	中学生	63,000	コミュニティレベル健診参加者	46,000	啓発参加者(フェア、成果普及研修、CG による啓発)	8,000
NCD カウンセラーと統計担当	12																				
保健ワーカー	600																				
NCD コーナー利用者	20,000																				
コミュニティグループメンバー	2,652																				
中学校教師	3,000																				
保健施設利用者 (含む安全な水受益者)	23,400																				
啓発参加者(映像等)	16,100																				
中学生	63,000																				
コミュニティレベル健診参加者	46,000																				
啓発参加者(フェア、成果普及研修、CG による啓発)	8,000																				
(6) 期待される成果と成果を測る指標	成果 1. NCD コーナーで受けられるサービスが強化される。 指標 1. NCD コーナーの基盤整備進捗 1 年次：修繕完了、指導教材、家具、機器類の導入→達成見込み 2 年次：映像教材投影用ディスプレイ設置スペース 入手手段：病院の記録 成果 2. NCD コーナーで従事する人材および地域保健従事者のキャパシティが向上する。 2-1 NCD コーナーの相談件数 1 年次：1, 600 回→達成 2 年次：14, 400 回 *1 年次の状況に合わせて 5760 回から変更した 入手手段：NCD コーナーの記録 2-2 全 NCD カウンセラー理解度テストの達成度 1 年次：60% 2 年次：70% 入手手段：毎年テストを実施 * 毎年共通の内容に 2 年次と 3 年次には新たな内容を加え難易度をあげる。 成果 3. 患者管理のための病院と地域の連携システムが強化される。 3-1 アプリによる入力システムが立ち上がる 1 年次：アプリによる入力システムの立ち上げが完了し、3, 900 人分の情報登録がなされる。→達成見込み 入手手段：サーバー内のデータ																				

	3-2 郡病院 NCD コーナーの NCD カウンセラーによってデータが追記される患者の数 2 年次: 4608 人 *1 年次の状況に合わせて 1760 人から変更した。 入手手段: サーバー内のデータ 成果 4. 病院内外で映像等を使った健康教育が実施される。 4-1 映像等を通じて予防の知識を得た人の数 県病院での投影を含めた場合の数 1 年次: 1,400 人→達成見込み 2 年次: 5,200 人 入手手段: プロジェクトの調査 4-2 健康教育を受けた人のうち内容を理解した人の割合 1 年次: 調査対象者 (360 人) の 60% →達成済み 2 年次: 調査対象者 (1008 人) の 70% 入手手段: プロジェクトによる理解度の出口調査 成果 5. 対象地域で NCD 予防のための環境改善が推進される。 指標 5-1 地域レベル計画に NCD 予防活動を取り入れた CC の数 (全 156CC) 2 年次: 60% 3 年次: 40% (計 100%) 入手手段: 地域レベル計画 指標 5-2 健康教育を受けた中学生数 1 年次: 31500 人→達成見込み 2 年次: 31500 人 (計 63,000 人) 入手手段: 学校とプロジェクトの記録 指標 5-3 保健施設内で新たに安全な水を得る人の数 2 年次: $30 \times 600 = 1,800$ 人 入手手段: CC とプロジェクトの記録 成果 6. 本事業の成果と教訓が取りまとめられ、発信される。 指標 6. 最終報告書 3 年次に計画
(7) 持続発展性	実施団体は 2011 年当時より、バングラデシュ政府保健サービス局 NCD 対策課と連携して対策を進めてきたが、2017 年 7 月には同課とプロジェクトの枠を超えた包括的連携協定を結び、NCD 対策における課題を抽出し、それへの対応策を共に考案して方針を決定してきた。更に、バングラデシュ政府は第 4 次保健・人口・栄養セクター開発プログラム (HPNSDP, 2017-2022) において、非感染性疾患対策強化の柱として今後全国 421 の郡病院で NCD コーナーを開始する方針で、これまでに 200 郡に NCD コーナーを開設した。このうち、全国 26 の郡病院が NCD 管理モデルとして選定された。保健サービス局は、本事業の対象地域ジョソール県モニランプール郡、チョウガチャ郡、ケシャプール郡郡病院内およびショドル郡保健所内の 4 コーナーを NCD 管理モデルとし

	て指定しており、相互に連絡を取り合って事業を進めていることから、本事業の成果はバングラデシュ政府の NCD 対策に反映されることが期待できる。 事業終了後に NCD コーナーの運営を担うのは郡病院であるため、人員配置やデータ管理システム導入にあたっては、郡病院にとって運用しやすさを考慮する。
--	--

(ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください)